

SDGs活動 名称	関係人口（学生）を巻き込んだ持続的な地域活動 【まちゼミ】
概要	町内会といった自治組織の運営者がいないことが社会課題となっている。その背景として地区運営者の高齢化、若者の人口流出及び地域活動への参画意識の低下があげられる。

SDG s との関係

経済側面	働きがいも 経済成長も	産業と技術革新の 基盤をつくろう	人や国の 不平等をなくそう	つくる責任 つかう責任
	— 	— 	— 	— 
社会側面	貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に 健康と福祉を	質の高い教育を みんなに
	— 	— 	— 	○ 
	ジェンダー平等を 実現しよう	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	住み続けられる まちづくりを	平和と公正を すべての人に
	— 	— 	○ 	— 
環境側面	安全な水とトイレを 世界中に	気候変動に 具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさも 守ろう
	— 	— 	— 	— 

産業、社会、環境の三側面との関係

産業	地区の事業者や地場品を夏祭りとコラボレーションすることで、認知度及びブランド価値の向上を図る。また、学生企画の直営店を出すこと等で新たな産業創出の経験をさせる。
社会	持続的な地域コミュニティの運営をするために学生を巻き込む仕組みをつくる。また、若者が参加したくなる企画や運営を若者自ら実施することで当事者意識及び地区への帰属意識を醸成する。
環境	祭り後には主催や及び関係者で清掃活動をし環境に配慮する。

事業計画

SDGs活動 現状	まちゼミ実行委員会（Catalyst Entertainment）を事務局として青山学院大学、三重大学、沼津高専の学生を中心に、シティプロモーション課、まちづくり課、まちづくりセンターと連携し地区まちづくり協議会と打ち合わせをし夏祭りの企画運営の合意を得た。
プロジェクト 普及計画	令和6年度末に実行委員会を既に立ち上げ、上記のステークホルダーから合意を得た。学生メンバーが主体的に企画運営を行うために、まちゼミ実行委員会及び社会人メンバーがメンターとなり、地区へのフィールドワーク、ワークショップや個別面談をすることでインプットの質を上げる。また、社会人メンバーの教員を主役に学生メンバーが主体的に活動できるようなファシリテートを随時行う。
プロジェクト 目標	学生5人以上がこのプロジェクトに参画し、地区の方のエンゲージメント向上させる。また、次年度以降も他地区へと転用できる仕組みの基盤をつくる。
プロジェクト 想定効果	2030年までに5地区30人以上の学生がこのプロジェクトに参加し、地区活動の持続的な運営の基盤づくりに寄与する。

F U J I 3 Sプロジェクトエッグ 普及計画書 事業計画

年度	年月	実施事項
令和7年度	2025年4月	地区フィールドワーク及びワークショップ（講師2人）
令和7年度	2025年4月	地域の方へのインタビュー
令和7年度	2025年4月	ワークショップ（顔合わせ）講師2人
令和7年度	2025年5月	ミーティング 講師2人
令和7年度	2025年5月	ミーティング 講師2人
令和7年度	2025年6月	ワークショップ（企画案作成）講師2人
令和7年度	2025年6月	ワークショップ（企画案作成）講師2人
令和7年度	2025年6月	企画案発表（講師2人）

F U J I 3 Sプロジェクトエッグ 普及計画書 収支予算書

歳入予算

(1) 事業収入、その他収入

[illegible]

歳出予算(補助対象経費)

[illegible]

歳出予算(補助対象外経費)

説明	金額	令和7年度					第2目標
	0						

收支